

## 直結直圧給水の範囲拡大について

宗像地区事務組合では、3階建て以上の建築物や共同住宅の給水方法は、一旦受水槽に貯めてからポンプにより蛇口まで給水する水槽式給水を採用してきました。

このたび、3・4階建ての建築物について、ある一定以上の水圧等が確保できれば、小規模受水槽の衛生上の問題の解消、受水槽等の設置費用及び維持管理費用の削減、受水槽等の設置スペースの有効利用など、給水サービスの向上を図ることを目的として、「三・四階直結直圧給水施行基準」を定め、受水槽を経由せずに配水管から直接蛇口まで給水する直結直圧給水が、平成23年2月1日から可能になります。

### 【直結直圧給水拡大の適用条件】

「宗像地区事務組合水道事業給水装置の構造及び材質の基準に関する規程」において、水槽式給水を規定している3階建て以上の建築物のうち、次の条件を満たす場合、直結直圧給水を採用することができます。

#### (1) 対象建築物

- ① 一戸建て住宅
- ② 共同住宅
- ③ 事務所ビル、倉庫等

※1 病院やホテルなど一定の水圧による常時給水が必要な建物や一時に多量の水を使用する建物は、現行どおり水槽式給水となります。

※2 末端最高位の給水栓を設置する高さが、道路止水栓取付地点の地盤高から3階建て建物については8.5メートル、4階建て建物については11.5メートル以下となります。

#### (2) 水圧分布と適用条件

建築用途 水圧分布区分	一戸建て 住宅等	共同住宅	事務所ビル、 倉庫等
0.20Mpa 未満	不可能		
0.20Mpa 以上 0.25Mpa 未満	可能	不可能	
0.25Mpa 以上 0.30Mpa 未満	可能（3階建てまで）		
0.30Mpa 以上	可能（4階建てまで）		

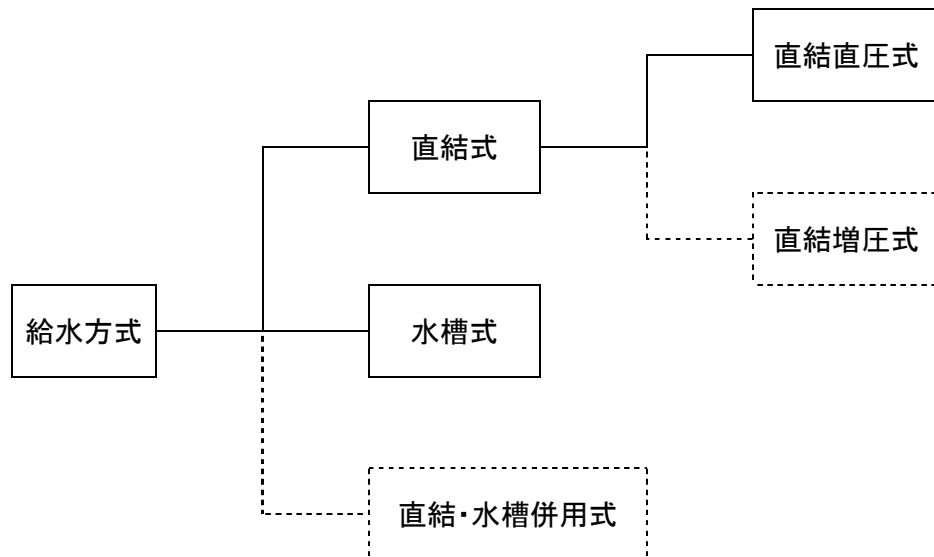
#### (3) 配水管と給水管の口径

配水管の口径は50ミリメートル以上であることを要し、給水管の口径は設計水圧（水圧分布区分により異なる数値）及び水理計算により算出するが、75ミリメートル以下であって配水管の口径の2ランク以下でなければならない。

## 【 給水方式 】

給水方式には、直結式、水槽式及び直結・受水槽併用式があり、その方式は給水高さ、所要水量、使用用途及び維持管理面を考慮し決定する必要があります。

宗像地区事務組合では、直結直圧式及び水槽式を採用しています。



## 【 直結給水のメリット・デメリット 】

直結給水には、メリット（長所）デメリット（短所）があります。これらを十分考慮のうえ、最適な給水方式を採用する必要があります。

### ※ メリット

1. 受水槽を経由せず蛇口まで水道水を直接給水できる。
2. 受水槽の定期的な清掃・検査が不要である。
3. 受水槽等のスペース及び設置費用が不要である。
4. 受水槽等の維持管理費用が不要である。

### ※ デメリット

1. 配水管の断水時には、直ちに給水停止となる。
2. 配水管の水圧変動の影響を受けやすい。
3. 配水管能力により、一時的に多量の水使用が制限される場合がある。
4. 給水管口径が大きくなる。

## 【 問い合わせ先 】

宗像地区事務組合施設課設備浄水係までお問い合わせください。

TEL 0940-62-0975

FAX 0940-62-1970